



よしだ やぎ え も ん

吉田 彌左衛門 氏

生年月日 大正 7 年 5 月 1 日生

住 所 田辺市湊

大正 7 年 (1918 年) 5 月 1 日、西牟婁郡田辺町 (現田辺市湊) において、吉田平次郎、ヤエ夫妻の三男として生まれる。

昭和 8 年 (1933 年) 3 月、田辺第二尋常高等小学校高等科卒業後、田辺中学校の給仕をしながら独学。昭和 12 年 (1937 年) 9 月から昭和 14 年 (1939 年) 8 月まで南富田小学校準教員として勤務。退職後、「あしべ」駅弁店に就職。昭和 20 年 (1945 年)、臨時召集のため退職。

終戦後、昭和 23 年 (1948 年) に湊 1023 番地に水門書店、水門画廊を開き、原勝四郎 [第 1 回 (昭和 45 年) 田辺市文化賞受賞] 三兄弟、楠本竜仙、保田竜門、川口軌外氏等の小品展を開催。昭和 25 年 (1950 年) 5 月、書店、画廊を閉め、「あしべ」駅弁店に再就職し、現在に至る。

豆本コレクターであった氏は、昭和 53 年 (1978 年)、還暦記念に豆本の出版を企画し、豆本への愛着と、廃れいく伝統和紙の保存を目的として自ら版元となり、昭和 54 年 (1979 年) 5 月に田奈部豆本第一集『鬼若と狸』を出版。昭和 61 年 (1986 年) 10 月に 30 集を達成。当初は 30 集を目標としたが、郷土の文化や歴史を保田紙、高野紙等伝統和紙で作られた作品が非常に好評を得、昭和 62 年 (1987 年) 5 月から「続田奈部豆本」の出版を開始し、平成元年 (1989 年) 6 月から「続続田奈部豆本」を出版。同年 9 月に 40 集達成記念として、初の卷子本仕立てで『十牛図』を出版。今日までに 48 集を発刊され、平成 2 年 (1990 年) 現在、49 集目を制作中。50 集を一応の区切りとしたいと意欲を燃やしている。

当豆本には、作家水上勉氏の特別寄稿を受ける等、出版に意を尽くすとともに現在継続して製造されている和紙を使用した唯一の豆本として注目を集めており、多年にわたり豆本分野の向上発展に尽力されるとともに、和歌山県の優れた文化、歴史を市内はもとより 県内外に紹介し、地元作家の発表の場になる等、市民の文化の振興、発展に多大の功績を残されている。

また、氏は写真同好者の弁慶クラブ会長として、アマチュア写真の発展にも尽力されており、昭和 41 年 (1966 年) 度田辺市展、写真の部で知事賞受賞。

昭和 42 年 (1967 年) からは無鑑査。和歌山県展では昭和 63 年 (1988 年) 度、第

第 21 回 (平成 2 年)

五席奨励賞。平成元年（1989 年）度、第三席毎日新聞社賞を受賞される等、アマチュア写真家としても活躍されている。

(略 歴)

昭和 8 年 (1933 年) 3 月	田辺第二尋常高等小学校高等科卒業
昭和 8 年 (1933 年) 4 月	田辺中学校給仕
昭和 12 年 (1937 年) 9 月	南富田小学校代用教員
昭和 13 年 (1938 年)	南富田小学校準教員
昭和 14 年 (1939 年) 8 月	南富田小学校退職。「あしべ」駅弁店に就職
昭和 20 年 (1945 年)	臨時召集のため、「あしべ」駅弁店退職
昭和 23 年 (1948 年)	田辺市湊に水門書店、水門画廊開店
昭和 25 年 (1950 年) 5 月	水門書店、画廊を閉店。「あしべ」駅弁店に再就職
昭和 62 年 (1987 年)	アマチュア写真、弁慶クラブ会長

(受賞歴)

昭和 41 年 (1966 年) 度	田辺市展 (写真の部) 知事賞
昭和 42 年 (1967 年) 度	田辺市展無鑑査
昭和 63 年 (1988 年) 度	和歌山県展 (写真の部) 第五席奨励賞
平成 元年 (1989 年) 度	和歌山県展 (写真の部) 第三席毎日新聞社賞
平成 元年 (1989 年) 11 月	和歌山県文化奨励賞受賞